



こころに残る景観資源発掘プロジェクト

こころに残る 水辺景観

岸和田市



目次



- P.02 こころに残る水辺景観マップ
- P.03 こころに残る水辺景観
- P.07 こころに残る水辺景観応募者エピソード集
- P.09 Landscape resources remaining in the mind
- P.10 こころに残る景観を巡る旅～ちきちきwalk～
- P.11 こころに残る景観資源 これまでの指定資源一覧
- P.12 プロジェクトの系譜

こころに残る水辺景観マップ



【こころに残る水辺景観】

- 01_はためく岸和田漁港大漁旗雄々しく
- 02_お堀と城下町
- 03_岸和田城を彩る夏の華
- 04_岸和田城水辺
- 05_久米田池の幻想的なハーモニー
- 06_水鳥と久米田池
- 07_山直中町 錦秋のスリバチ池
- 08_田治米町 ポピー咲くセツ池
- 09_蜻蛉池公園大池の水鏡
- 10_積川町 水路のある古の町並み
- 11_意賀美神社横 雨降りの滝
- 12_内畑町 田んぼへの水引きの始まり
- 13_大沢町 サギも降り立つ棚田
- 14_牛滝山大威徳寺 一の滝
- 15_牛滝の谷にそそぐ錦流の滝

※ こころに残る景観資源の見学にお越しの際は公共交通などをご利用下さい。
また、周辺の迷惑にならないよう管理者の指示に従うなどマナーを持って来訪して下さい。

こころに残る水辺景観

01 はためく岸和田漁港大漁旗雄々しく

岸和田を特徴づける漁港は、多くの漁船が整然と並び、人々の営みと賑わいが感じられる水辺である。

特に大漁旗がたなびく風景は、航海の安全と大漁を祈願する新年の風習を今に伝えるものである。また、海産物を身近に買うことができるイベントなどが行われており、これからも地域住民に愛される景観として継承してもらいたい。



地蔵浜町



02 お堀と城下町

岸和田城の堀ごしに、歴史の風情を感じられる本町の美しい瓦屋根のまちなみを見ることができる水辺である。

堀の水面にスイレンが一齐に咲き誇る時期には、写生や写真撮影に多くの人々が来訪され、四季折々の趣と親しみを感じることができる。岸和田城には視点場によって様々な魅力があり、まさに岸和田を代表する景観となっている。



岸城町



03 岸和田城を彩る夏の華

夏の風物詩となっている港まつりの花火が水面に映り、岸和田城の前景となった美しい水辺である。

修景整備された散策道の堀端から遠目に花火を楽しめる新たな名所として斬新さを感じた。多くの市民に愛され、岸和田を代表する景観としてこれからも岸和田城の新たな魅力を発掘してもらいたい。



岸城町



04 岸和田城水辺

岸和田城堀端の水辺は、400年以上続く城下町の歴史の風情が感じられるスポットとして市民に親しまれている。まさに岸和田らしさを象徴する水辺である。

また、現在は空にそびえる天守と苔むした石垣、周囲の桜や紅葉に彩られ、堀の四周どこからでも地域の魅力が効果的に伝わっており、今後も地域固有の魅力を感じさせる市民の誇りであってほしい水辺である。



岸城町



こころに残る水辺景観

05 久米田池の幻想的なハーモニー

久米田池は空と池の色彩が調和しており、幻想的な早朝の光景が非常に美しく、野鳥の飛来や、ヘラ鮎漁を行なう生活景観など、四季折々の趣がある。冬には多くの野鳥が見られ鳥の国際空港といえる光景や桜などの視点場が設けられており、散策やジョギングを楽しむ姿も見られた。

また、維持管理を市民ボランティアが行うなど、今後も市民の力で魅力を持続してもらいたい水辺である。



06 水鳥と久米田池

地域の人々により維持管理されている久米田池は、多様な生態系を育み、親しみと賑わいのある水辺である。

多くの野鳥が生息し、まちなかの貴重なオアシス空間として象徴的である。

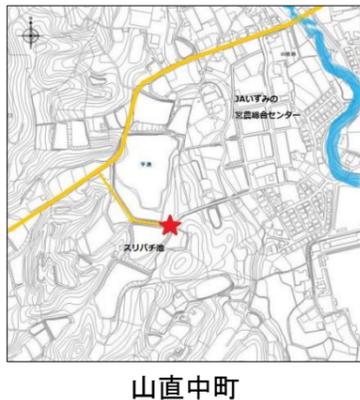
また、季節の移ろいや潮汐によりまた違った表情を見ることができ、岸和田を代表する景観である。今後も、人々の営みや地域固有の魅力を感じさせてくれる景観が発掘されることを楽しみにしたい。



07 山直中町 錦秋のスリバチ池

錦秋のスリバチ池は、色とりどりの木々が水面に映り、幻想的な美しさが際立ち、四季折々の趣が感じられる水辺である。

周囲の桃畑や祠など地域の人々に大切に守り継がれてきた景観は、水辺の魅力をもより一層引き立たせるものである。今後、隣接するゆめみヶ丘のまちづくりが進み、新しいまちなみがこの池を引き立てるよう調和を図りつつ、そこに暮らす住民にも愛される景観として期待したい。



08 田治米町 ポピー咲く七ツ池

山並みと四季折々の季節が感じられ、開放的な眺望を満喫することができる水辺である。

秋には、紅葉した木々が湖面を美しく彩っており、周囲の農地と調和した豊かな自然を感じながら、静寂の中に小鳥のさえずりが心地よく聞こえ、神於山や和泉葛城山系などの遠景も楽しめる景観である。



09 蜻蛉池公園大池の水鏡

蜻蛉池公園内の大池周辺は、夏はさつきの花や新緑、冬は落葉した樹木や透き通るような美しい光など四季折々の自然を手軽に感じることができる水辺である。良く手入れ整備された樹木や花々、秋に飛来する水鳥が季節ごとの魅力的な表情を作り出しており、市民に愛される水辺となっていると感じられた。

今後も、豊かな自然が身近に感じられる場所としてどなたにも観ていただきたい水辺である。



三ヶ山町



10 積川町 水路のある古の町並み

積川町にあるこの水路は、周辺の旧家の町並みと一体的な景観を形成しており歴史の風情を感じさせる水辺である。ゴミひとつなく良好に維持管理がなされていることから、この水路は地域住民にとって心を癒す水辺として親しまれているように思えた。

現在まで農業用水路として、地域の人々に大切に守られ続けている。美しいまちなみと共に将来に継承すべき水辺である。



積川町



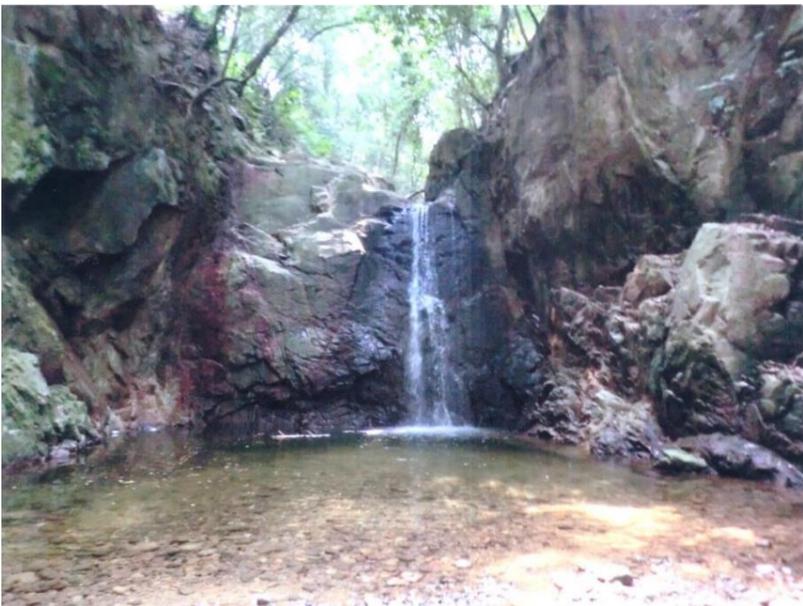
11 意賀美神社横 雨降りの滝

雨乞いの神として地域の人々に信仰されてきた意賀美神社の雨降りの滝は、深緑の中で見ると大変神々しく、歴史の風情と豊かな生態系を感じさせる水辺である。

意賀美神社の境内は、夏でもひんやりとしており、日常から隔離された別世界のようにであった。人の手がほとんど入らない自然のままの滝は地域固有の魅力を実感的に伝えており、今後も多くの人に知ってもらいたい水辺である。



土生滝町



この場所は過去の台風時の災害により、通路が損傷し、近くで見ることができません。(2022年4月現在)

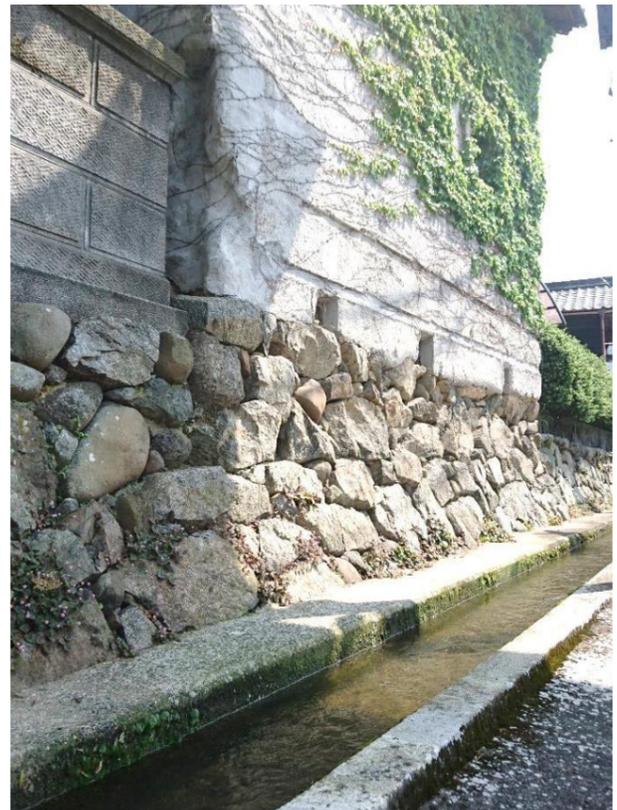
12 内畑町 田んぼへの水引きの始まり

古民家が立ち並ぶ集落内の水路には透き通った水が流れ、自然の恵みと人々の営みを感じられる水辺である。

蔵や民家などの歴史的な風情が管理の行き届いた水路と相まって地域固有の趣が感じられる。長い年月を経て培われたこの景観をいつまでも守り継いでもらいたい。



内畑町



13 大沢町 サギも降り立つ棚田

周囲の山々の表情の移り変わりや稲作などを通じ、四季折々の趣を感じさせる水辺である。現地を訪れた際には、田に水は無かったが、水が張られた棚田の美しさは想像に難くなかった。

また、地域を訪れる観光客にも親しまれていると感じられた。地形を活かした棚田は、地域固有のふるさとを感じさせる魅力が効果的に伝わる風景を形成しており、今後もこころ和む水辺であってほしい。



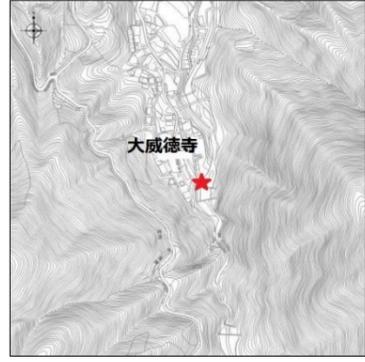
大沢町



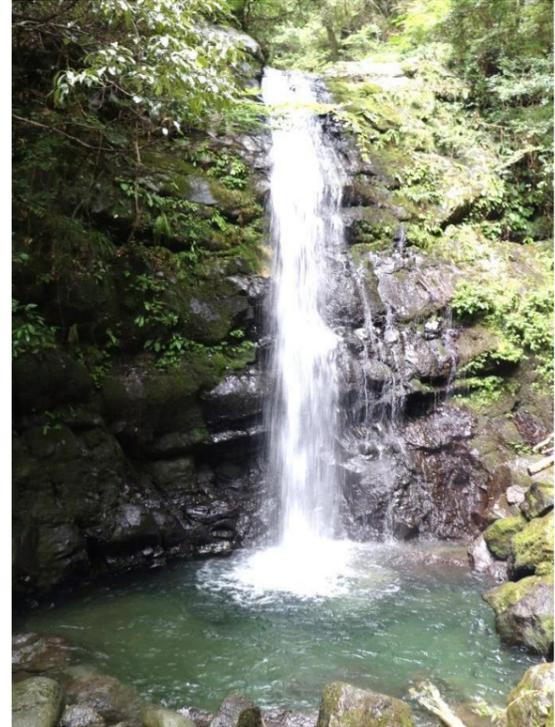
14 牛滝山大威徳寺 一の滝

紅葉の名勝として古くから知られる牛滝山大威徳寺と一体をなす「一の滝」は、和泉名所図会にもあるように歴史の重厚さを感じる水辺である。

四季折々の趣と葛城修験場の静寂のなか、落差のある滝は句碑に詠まれるように迫力があり、視覚のみならず五感を楽しませてくれる。古刹とともに多くの人々に訪れてもらいたい景観である。



大沢町

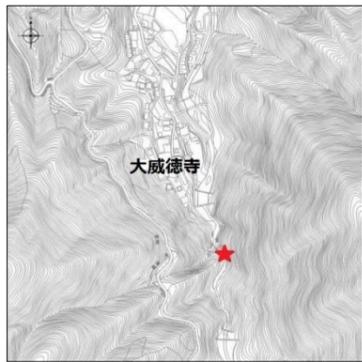


この場所は過去の台風時の災害により、通路が損傷し、近くで見ることができません。（2022年4月現在）

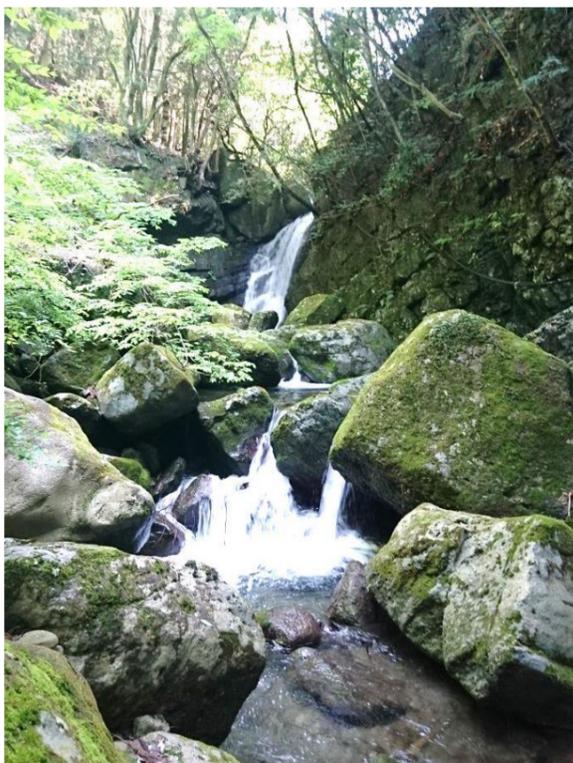
15 牛滝の谷にそそぐ錦流の滝

錦流の滝は、古くから岸和田を代表する景観として、岸和田八景（小川翠村）にも描かれている水辺である。

苔むした岩場を縫うように流れる川は、まさに錦の様な美しさである。渓流沿いを散策し、緑豊かな自然を楽しみながら出会うことができる景観である。



大沢町



この場所は過去の台風時の災害により、通路が損傷し、近くで見ることができません。（2022年4月現在）



こころに残る景観資源の場所は岸和田市ホームページから確認できます。

【検索方法】

市HPから「祭都Naviきしわた」をクリック



「景観・公園情報マップ」を選択



「景観マップ」を選択してご覧ください

こころに残る水辺景観 応募者エピソード集



1. はためく
岸和田漁港
大漁旗雄々しく

◆新年元旦、青空の岸和田漁港に港一杯に雄々しくたなびく漁船の大漁旗の姿は、この年の人生の励ましと喜び、心の幸福が湧き上がる。また水面の景観は、さらに心を躍らせる。岸和田の漁師の方々の航海安全と大漁の祈願に尊敬し、住民の心からの支援を新年の太陽神に大手を広げて願う。岸和田の漁師の安全活躍は、住民の幸福を培い、地域発展をもたらす。今年も新年から、漁港、漁船の大漁旗にこころウキウキ、人生の将来、未来への勇ましい希望が湧いてくる。(応募者：77歳/男性)

◆多くの漁船が整然と並んでいます。どの船にも様々な大漁旗がつけられ、その姿は勇壮であり、圧巻される景観です。(応募者：44歳/女性)



2. お堀と城下町

岸和田城のお堀はよく散歩にきて、心おちつく場所です。スイレンの花の咲く頃、水の色と空の色、むこうに見える城下町がとても好きです。(応募者：67歳/女性)



3. 岸和田城を彩る
夏の華

毎年楽しみにしている岸和田の花火大会を今年は岸和田城から見学しました。お堀に映る花火は美しく見る人を魅了してくれる景観です。(応募者：44歳/女性)



4. 岸和田城水辺

◆岸和田城の周りを仕事の日はいつも散歩してしており、ふと、水辺に映る岸和田城を見つけ携帯カメラで撮影しました。撮影した時は、特に珍しいものではないと思っていたのですが、この撮影以降、私自身一度もお目にかかれていないので、珍しくて歴史の風情あるものかと思い応募しました。(応募者：43歳/男性)

◆「水すめば月うつる」先哲の言葉。「岸和田城は、春には青空にそびえる天守と、苔むした石垣、桜の景観が美しい」と恩師は言う。この大好きな風景が、水辺にうつる。めぐりくるたび私は平和を祈り、感謝す！！(応募者：68歳/女性)



5. 久米田池の
幻想的な
ハーモニー

◆夏のはじめ頃に、朝早く久米田池に行つて、朝日が出る頃に、久米田池がきれいな色に、そまってきたので撮影しました。普段の池と少しちがって幻想的に見えました。(応募者：42歳/男性)

◆久米田池といえば、広大な灌漑用地、鳥の国際空港といったイメージがありますが、寒ブナ漁の時期になると、ここは養魚地でもあるということ再認識します。この水辺での漁の日には、魚だけではなく、網に掛かるザリガニ、カメなどの水生動物や水草、藻なども目にすることができ、漁のおこぼれ目当て？にダイサギ、アオサギなどの水鳥も多く集まります。また、この日は、私にとっては久米田池を利用してきた人々の知恵と、多くの生き物を育むこの池の豊かさや恩恵を、いっそう強く感じさせられる日でもあります。(応募者：65歳/男性)

◆8月29日午前5時20分、散歩中東の空の朝ぼらけ。空と池の幻想的なハーモニー。(応募者：80歳/男性)



6. 水鳥と久米田池

◆アオサギが沢山いますが、この鳥さんは何を見ているのでしょうか？ このコは…水色の世界に溶け込んで幸せそうにみえました。きれいな池をいつまでも私たちが保持して、いつまでも鳥たちのお気に入りの場所であってもらえればよいなと思いました。(応募者：59歳/女性)

◆黒い顔に白いお化粧をしたオオバン。6個以上も一度に卵を産むのですね。みんな元気に孵ったらいいですね。鳥さんもお母さんはたくましいです。こんな環境をいつまでも大切にできるのは人間の力！岸和田の力！久米田池がいつまでもきれいなため池であるように！と、みんなの意識ができれば！と思います。(応募者：59歳/女性)

◆久米田池の夕方(4月後半) (応募者：55歳/男性)



7. 山直中町
錦秋のスリバチ池

秋晴れの朝日に輝くスリバチ池。色とりどりの紅葉と緑の木々が青い池に映り、一幅の絵画を見るようでした。しかしながら岸和田丘陵地再開発事業の工事が間際まで迫り、環境の変化による要因で、この光景が見られなくなるのではとの一抹の不安も覚えた。これからも残ってほしい景観である。(応募者：73歳/男性)



8. 田治米町
ポピー咲く
七ツ池

蜻蛉池公園に隣接する七ツ池。この池は蜻蛉池と共に田治米町の池である。春の新緑、秋の紅葉も美しいが、ゆったりとした池面に花が映えるこの季節も素晴らしい。(応募者：73歳/男性)

※「こころに残る景観資源発掘プロジェクト」のタイトル及びエピソードは応募原文のままとしています。

こころに残る水辺景観 応募者エピソード集



9. 蜻蛉池公園
大池の水鏡

◆とんぼ池公園のバラを撮影に、すこし時期が早いかなあと思いつつ出かけました。早朝からお天気もよく気持ちの良い朝で風もなく、大地に目がとまりました。さつきと新緑がきれいに写し出されてしばらくの間癒されていました。この水辺景観は誰にも観ていただきたい場所だと思います。（応募者：62歳／女性）

◆四季折々の自然を手軽に感じることができ、蜻蛉池公園ですが、お勧めは大池の東側池畔で、季節は晩冬です。初めてここを訪れた知人が、「トンボの生態が観察できるような、趣のある水辺が整備されているので『蜻蛉池公園』なのですね。」と勝手な解釈をしていましたが、池とはコンクリートと金網に囲われた所というイメージがあったからでしょうか。晩冬には、この時期ならではの美しい光、冬枯れした樹木などの佇まい、残り少なくなった冬を楽しんでいるような多くの水鳥たち…と興味が尽きません。（65歳男性）



10. 積川町
水路のある古の町並み

稲葉町交差点から蜻蛉池公園に曲がると牛滝川にかかる橋があります。その橋から牛滝川に沿って菅原神社のほうに曲がると山間の森閑とした雰囲気です。自転車で市街から牛滝山に上がるので自動車では通れない道を走ろうと思って牛滝川から住宅を抜けていく路地を走っていると、突然古い町並みが現れました。聞くところによると古から都に繋がる人が出たり、近年ではお酒の蔵元が酒蔵を構えたりといったところだとか。酒造りもできたところなのか、水路を流れる水が市街からさほど離れていないのに綺麗に澄んでいました。（応募者：53歳／男性）



11. 意賀美神社横
雨降りの滝

意賀美神社は大阪府自然環境保全地域に指定され、社叢は岸和田市の天然記念物に指定されています。常緑広葉樹林で林床植物が見られる典型的な暖地性照葉樹林の姿を残しています。ホルトノキやタイミンタチバナが植生しています。津田川には木々の間から雨降りの滝があります。この滝は濃い緑の中で大変神々しく見え、この地域の水に関する信仰と深い関係があることが想像できます。黒いハグロトンボがたくさん飛んでいました。（応募者：74歳／男性）



12. 内畑町
田んぼへの水引きの始まり

きれいに維持管理された町中を流れる水路に澄み切った水が走り、もうすぐ田植えが始まるのかと感じさせてくれます。（48歳／男性）



13. 大沢町
サギも降り立つ
棚田

日本昔話に出てきそうな風景。棚田の水面が美しい。7月を過ぎれば、稲がぐんとのび水面をあおあおと覆い、水辺が見えなくなるけれど。（応募者：53歳／男性）



14. 牛滝山大威徳寺
一の滝

◆私のこころに残る水辺景観として、牛滝山大威徳寺奥の一の滝から二の滝までよく吟行し、滝の春夏秋冬を撮影します。寺の境内に旧山滝村（現内畑町）が生んだ有名な俳人、鈴木大林男先生（故人）の句碑があります。「滝壺を 出でずに遊ぶ 水のあり 大林男（むりお）」牛滝川の源流に近い清流のこの滝は季節ごと水辺の景色をかえ、市を代表する水辺の景観として推薦します。「山門に 瀑音 微か 一の滝」俳号 赤心子（せきしんし）（応募者：71歳／男性）

◆この滝は家からも近くそれほど人も多くないのでよく夏に涼みにいきます。子供の頃はなんとも思っていなかったが大人になってからいくと、その心地よさに感動しました。（応募者：29歳／女性）

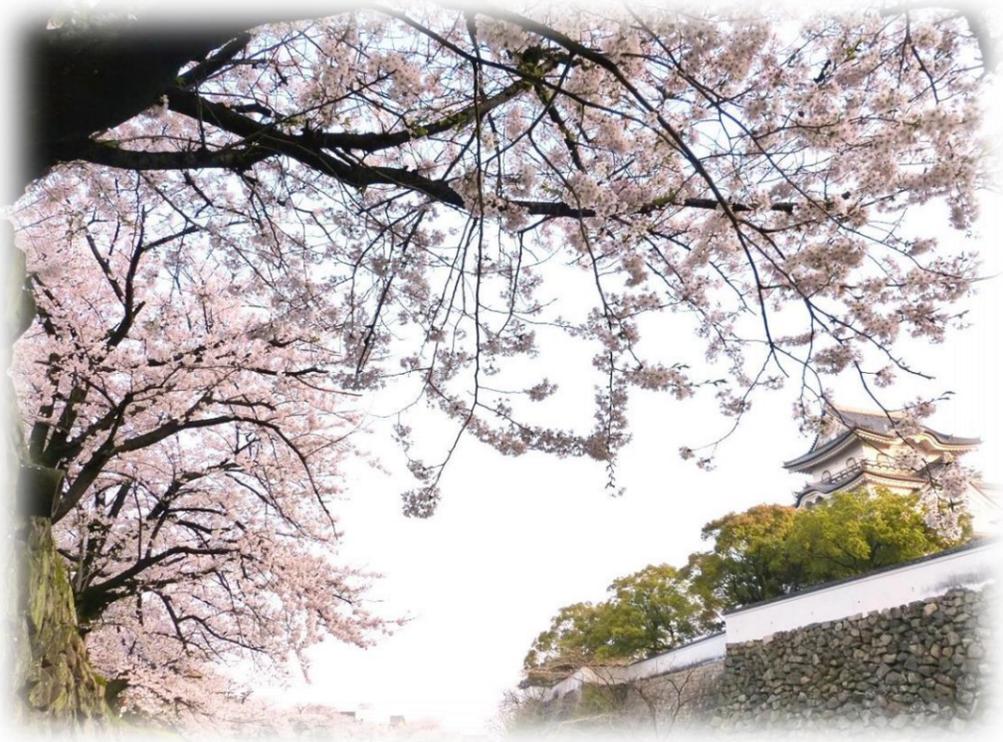
◆牛滝温泉から大威徳寺の境内を抜け、牛滝山に入るとバーベキューをする人たちの楽しげな声が遠くなり、だんだんと水の音が迫ってきて、滝が見えた。滝の前に立つと、あれだけ感じていた暑さが消え、自然の涼しさを感じる。滝の音に耳を澄ませ、澄んだ滝壺を見ると、時間を忘れる。せつかくの素晴らしい水辺なのに人があまりおらず、より多くの人に知って欲しいと思い応募しました。（応募者：16歳／男性）



15. 牛滝の谷に
そそぐ
錦流の滝

和泉葛城山から流れる小さな水の流れはいつしか錦となって滝になり牛滝へと流れ、人々の営みを支えてくれる。自然が多い岸和田らしい景観です。（応募者：48歳／男性）

Landscape resources remaining in the mind



As we call “Landscape Decade, Scenery Century, and Climate Millennium”, it would be important to work on creating the landscape which leads to our future assuming that our daily activities would someday thrive in the place as its climate as time goes by.

「景観十年・風景百年・風土千年」と言われるように、私たちの日々の営みが、いつか時を経て、風土としてその土地に息づくことを想定しながら、「未来につなぐ」景観形成に取り組むことが重要だと考えられます

So far, we have been discovering the landscape resources about “Trees” which have been cherished by local people who are dedicated to great landscape creations, “Roads” which is the common space of society, and “Watersides” which is the source of our daily activities.

We have been also accumulating and sharing the information.

これまで、優れた景観形成に寄与する地域の人々に大切に守られてきた「樹木」、社会の共有空間である「みち」、日々の営みの源である「水辺」について景観資源を発掘し、その情報を蓄積、共有に努めています



[Project for discovering the landscape resources remaining in the mind]

To realize the basic goal of Kishiwada city’s landscape formation that is to create “Individual comfortable environmental city”, which rich natural environments and historical environments weave, it is necessary for citizens, business owners and the government to create, save, develop and connect good landscapes for the next generation through their mutual understandings.

Therefore, since 2012, we have been implementing “The project for discovering the landscape resources remaining in the mind” to create effects such as developing the local attractiveness, fostering the attachment and pride for the local community and contributing to the improvement of the local value by discovering the core resource of the local landscape, and by accumulating and sharing the information.

[こころに残る景観資源発掘プロジェクト]

岸和田市の景観形成の基本目標である『豊かな自然環境と歴史的環境が織り成す「個性的快適環境都市」の創生』の実現には、市民、事業者、行政が相互理解を図りながら、優れた景観をつくり、まもり、はぐくみ、次の世代へつないでいく必要があります。

そのため、地域の景観の核となる資源を発掘し、その情報を蓄積、共有により地域の魅力を高め、郷土への愛着や誇りの醸成と、地域価値の向上に寄与するなどの効果を創出するために「こころに残る景観資源発掘プロジェクト」を2012年より実施しています。



岸和田市のゆるキャラ「ちきりくん」が、こころに残る景観資源発掘プロジェクトの指定資源や景観重要樹木を巡り、岸和田市内の景観の魅力を伝えるブログを随時更新しています。是非、ご覧ください。

こころに残る景観を巡る旅

検索



こころに残る景観を巡る旅
はこちら

ちきりくんのこころに残る景観を巡る旅のご紹介



牛滝山大威徳寺 一の滝



バラの小道(蜻蛉池公園)



奥家の棕



岸和田港を臨むみち



塔原町・サクラ



牛滝街道(積川町)
積川町 水路のある古の町並み



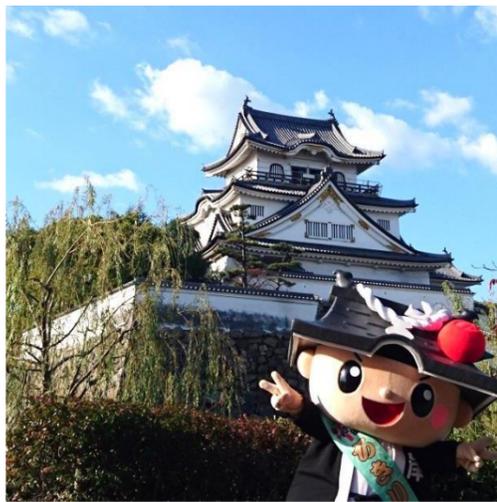
積川神社の棕と楠



包近楠本神社もも花参道



中央公園のポプラ並木



岸和田城



久米田池遊歩道



吉井町のエノキ

こころに残る景観資源 これまでの指定資源一覧

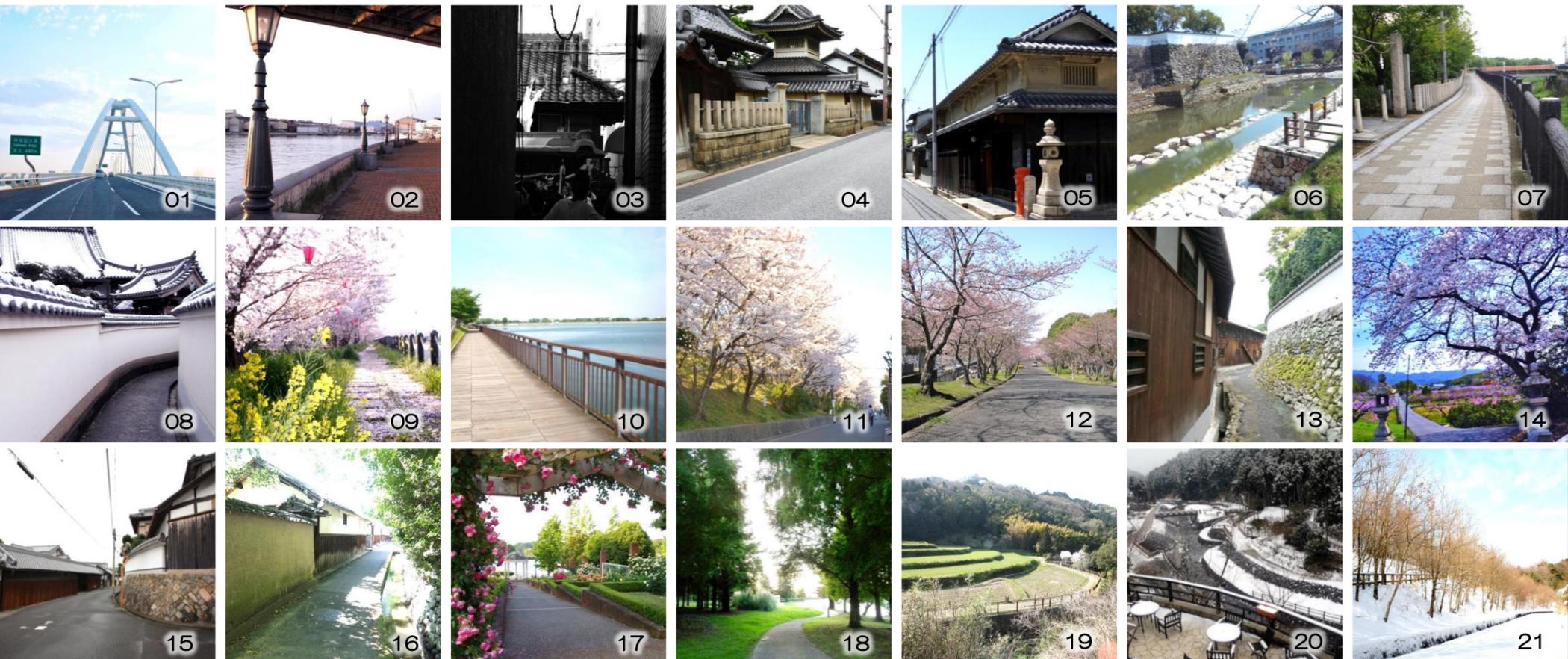
こころに残る景観資源発掘プロジェクトにより発掘、指定した景観資源は、2021年3月現在、樹木景観15件、みち景観21件、水辺景観15件、まち景観19件、ひとの営み景観10件となります。それぞれの景観資源については、パンフレットまたはホームページで紹介していますので、是非、ご覧ください。

こころに残る樹木景観 15件指定



- 01_中央小学校のエノキ
- 02_二の丸公園 マツ
- 03_岸和田城堀端の桜並木
- 04_上町の楠
- 05_中央公園のモミジバフウ
- 06_中央公園のポプラ並木
- 07_吉井町のエノキ
- 08_西向寺のいぶき
- 09_流木墓園の桜並木
- 10_奥家の棕
- 11_蜻蛉池公園のヤナギ
- 12_蜻蛉池公園のメタセコイア
- 13_積川神社の棕と楠
- 14_大沢神社の杉
- 15_塔原町・サクラ

こころに残るみち景観 21件指定



- 01_岸和田大橋 (阪神高速湾岸線)
- 02_岸和田港を臨むみち
- 03_堺町のだんじり小屋横
- 04_お寺の道 (本町紀州街道)
- 05_南町のみち (紀州街道)
- 06_春を待つ岸和田城の桜道
- 07_春木川遊歩道 (兵主神社横)
- 08_久米田寺へ続くみち
- 09_久米田池遊歩道 (平成26年度指定分)
- 10_久米田池遊歩道 (平成27年度指定分)
- 11_東ヶ丘町グリーンバルロード・花絨毯
- 12_流木墓園桜並木みち
- 13_阿間河滝の阿弥陀寺への参道
- 14_包近楠本神社もも花参道
- 15_福田町のまちなみ
- 16_牛滝街道 (積川町)
- 17_バラの小道 (蜻蛉池公園)
- 18_メタセコイアの小道 (蜻蛉池公園)
- 19_相川ほたる遊歩道
- 20_牛滝いよやかなの郷散策道
- 21_和泉葛城山登山道

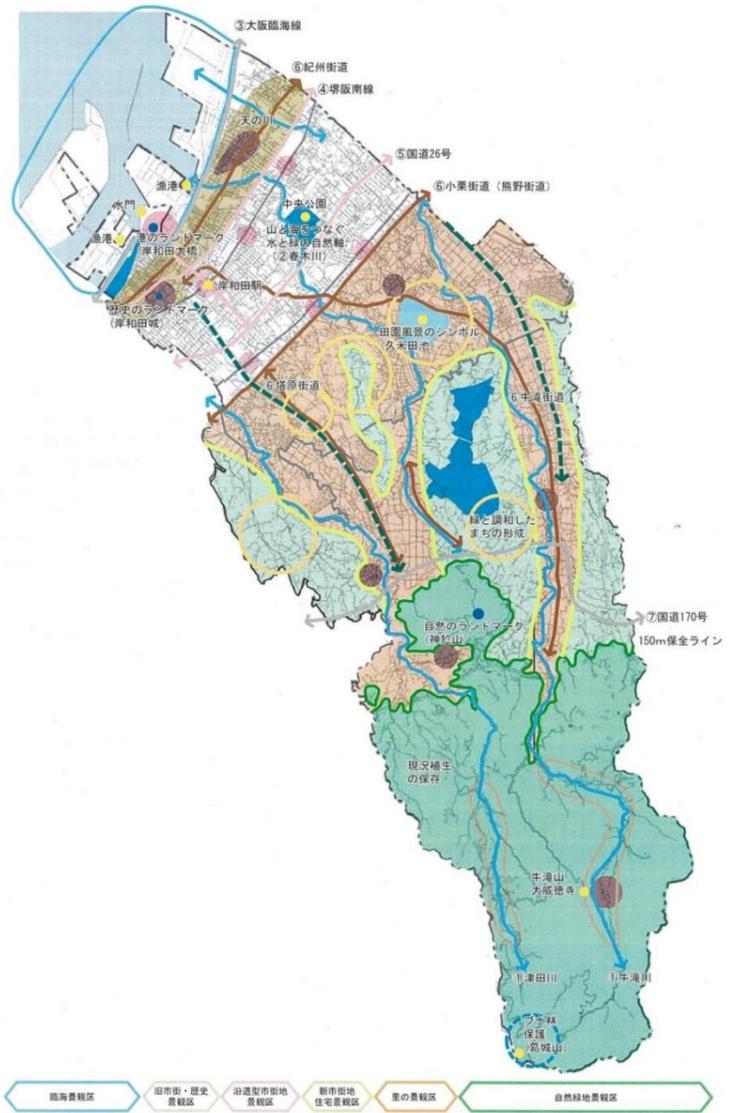
プロジェクトの系譜

岸和田市景観計画

岸和田市景観計画は、恵まれた自然・歴史・文化資産を活かし、岸和田市にふさわしい風格ある景観づくりに努めることで、更に岸和田らしい魅力あふれた快適なまちとして、これを次代の市民、事業者を引き継いでいくことを目的に策定しています。

景観形成の基本目標である『豊かな自然環境と歴史的環境が織り成す「個性的快適環境都市」の創生』を実現するためには、市民、事業者、行政が総合的かつ多面的にお互いの立場を理解しながら協力し、優れた景観をまもり、はぐくみ、つくりだし、次の世代へつないでいく必要があります。

基本景観区	主な土地利用
臨海景観区	工業、港湾
旧市街・歴史景観区	住宅、商業
沿道型市街地景観区	住宅、商業、工業
新市街地住宅景観区	住宅、商業
里の景観区	農地、樹林地
自然緑地景観区	樹林地



こころに残る景観資源発掘プロジェクト

こころに残る景観資源発掘プロジェクトは、地域の景観の核となる資源を発掘し、その情報を蓄積、共有していくことで地域の魅力を高め、郷土への愛着や誇りの醸成と地域価値の向上に寄与するなどの効果を創出する事を目的として平成24年度よりプロジェクトを実施しています。

【指定状況 (2022年3月現在)

樹木景観15件、みち景観21件、水辺景観15件、まち景観19件、ひとの営み景観10件、眺望9件】



まちかど審査の様子

プロジェクトの流れ



「未来へつむぐ物語」

「景観十年・風景百年・風土千年」と言われるように、私たちの日々の営みが、いつか時を経て、風土としてその土地に息づくことを想定しながら、「未来につなぐ」景観形成に取り組むことが重要だと考えられます。

これまで、優れた景観形成に寄与する地域の人々に大切に守られてきた「樹木」「みち」「水辺」「まち」「ひとの営み」について景観資源を発掘し、その情報を蓄積、共有に努めています。

「こころに残る景観資源発掘プロジェクト」の詳しい内容は岸和田市ホームページからご覧いただけます。

岸和田市こころに残る景観資源

検索



こころに残る景観資源発掘プロジェクトはこちら

問合せ先：岸和田市まちづくり推進部都市計画課 景観担当

〒596-8510 岸和田市岸城町7-1 ☎072-423-9538(直通)

